

U40 建築賞



設計担当者

大庭拓也

(株)日建設計 | Nikken Wood Lab, 東京建築士会



大庭

共同設計者

大和田 卓

(株)日建設計 | Nikken Wood Lab, 東京建築士会

飲食店／東京都渋谷区

渋谷区立 北谷公園

構造 | 重量鉄骨造

階数 | 地上2階

敷地面積 | 961.53㎡

建築面積 | 181.9㎡

延べ面積 | 295.98㎡

竣工年 | 令和3年



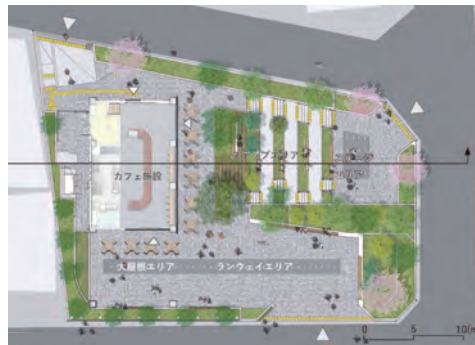
2



3



4



平面・配置図

- 敷地内にある3mの高低差を活かした様々なレベルを設定し、公園と建築が立体的に連続するような空間を実現
- イベント屋台への組み換えダイアグラム。木外装は取り外し、公園内のイベント屋台などとしてトランスフォームすることができる
- 外装等の木製材をつなぎあわせてイベント屋台をつくりやすくなるための木材専用クランプ(「つな木クランプ」)を企画・プロデュース
- 完成したイベント屋台
- イベント日。北谷公園が地域企業や人の活躍の舞台となる

写真1・5…© Forward Stroke Inc.

選評

かつては薄暗く陰気だった公園を改修し周辺の店舗や街に集まる人々の休憩スポットや、さまざまな出会いの場になるイベントスポットとして再生された都市の空間資源の掘り起こしプロジェクトである。

これは渋谷区初のPark-PFI事業(公募設置管理制度)で、公園の指定管理も担う設計事務所が設計段階から運営フェーズでの取り組みをイメージしながら設計したとのことである。さらに設計事務所が運営側に身を置くことで、今後のさまざまな設計にフィードバックできると

いう成果も期待されるという。

樹木にあふれた清々しい公園に生まれ変わった面積961.53㎡の公園の中に、建築面積181.92㎡の鉄骨造2階建の店舗がある。鉄骨ワンスパンは吹抜けの大屋根エリアとして外部スペースのランウェイエリアにつながり、たくさんの人が集まるイベントに活用される。

建物の外装材は、多摩産材が耐久性熟慮の上使用され木質感がある表情をつくり、公園の生きた樹木と調和している。それら木材も単なる外装材としてだけでなくイベント用屋台に

も使える部材にも変身する。つまり外壁は、工夫と納まりが内蔵された部材の収納場所なのだ。これらの手法は災害時の仮設小屋設置などに応用することもでき、広く日本中に普及してほしい手法だ。

これは大都会の公園改修の成功例としてだけでなく、各地方の見捨てられた空間資源を使って大都会に無いものも掘り起こすことができるヒントや希望を与える公園改修プロジェクトとして大いに評価したい。(三澤文子)